

ウメ新品種「ひなた丸（仮称）」の育成経過と特性

研究のねらい

ウメ品種「白加賀」は、市場価値が高いことから、本県の主要品種として生産されています。しかし、「白加賀」は天候により受粉樹の開花期が左右されるなど、結実が不安定です。

そこで、「白加賀」と交雑和合性を持ち、開花期が一致する受粉樹に適した新品種を育成しました。



写真「ひなた丸（仮称）」の結実状況

技術の特徴

1 育成経過

「ひなた丸（仮称）」は平成18年に「I3」（「織姫」×「南高」）に「玉織姫」を交配して得られた実生を選抜し育成した品種です（写真）。

農林水産省への品種登録出願は、平成29年6月に行い、同10月に出願公表となりました。

2 品種特性

- (1) 育成地（伊勢崎市）における開花期は「白加賀」とほぼ同時期です（表1）。
- (2) 自家結実性を持ちます。
- (3) 果実は22g程度の中粒です（表2）。核（種子）は小さく、先端は尖っていません。
- (4) 樹勢は中程度であり、樹姿は開張と直立の間です。
- (5) 青ウメは6月上旬（満開後約100日）、漬けウメ（梅干し加工用）は6月中旬（満開後115～120日）に収穫期を迎えます（表2）。
- (6) 梅ジュース、梅干しの加工適性は「白加賀」や「南高」と同等です。

表1「ひなた丸（仮称）」の開花時期

品種名	平成（年）	開花期（月/日）		
		始 ¹⁾	盛 ²⁾	終 ³⁾
ひなた丸 （仮称）	28	2/17	2/21	3/14
	29	2/17	2/24	3/19
	30	2/28	3/2	3/13
白加賀	28	2/14	2/23	3/17
	29	2/22	2/28	3/21
	30	3/1	3/3	3/19
南高	28	2/1	2/14	3/12
	29	2/19	2/24	3/16
	30	2/25	3/1	3/12

1) 全体の20～30%が開花した日

2) 全体の80%が開花した日

3) 全体の70～80%の花弁が散った日

表2「ひなた丸（仮称）」の果実特性

品種名	果実重 (g)	核重率 (%)	収穫日	
			青ウメ	漬けウメ
ひなた丸 （仮称）	22.2	7.3	6/2	6/18
白加賀	35.7	8.1	6/6	6/16
南高	42.6	7.0	-	6/30

今後の取り組み

苗木の配布は、平成30年度から開始します。当面は県内に限定して普及を図ります。

（執筆者：岡本 安祐美）